

0・1・2歳児



5月 すくすくだよ!

一足早く梅雨の季節がやってきました。テラスで遊んでいるとつばめが飛んでくるのが見えました。それをじっと見つめて何をしているか観察していました。時折鳴き声が聞こえてくるとツバメの巣のほうを見て、巣のほうに駆け寄って「あっ!!」と指をさしていました。

☆ お願い ☆

毎日連絡帳に給食やおやつの記入をしていましたが、6月からは給食だよりにて各自ご確認をお願いします。



【1歳児 ひよこぐみ】

ある日、Aさんが布(オーガジー)をふわふわと揺らして遊んでいました。保育者がそばで「じーばー じーばー」とわらべうたを歌うと、Bさんもわたしもする～といっているかのようにお気に入りの黄色い布を持ってきて、わらべうたに合わせて布を動かして始めました。その周りにいた子も「ばあー」という言葉に興味を持って近づいてきたり、顔を隠したりしてわらべうたを楽しみました。保育者と繰り返し遊んでいくと子ども同士でも楽しむようになりました。保育者と同じように友達の顔の前で布を上下に動かして優しく顔に布をかけ、「ばあ〜っ!」と布を外してお友達と笑い合っていました。



【2歳児 あひるぐみ】

5月の初め、園庭では大きなこいのぼりが上がりました。それを毎日喜んで眺めていた子どもたちですが・・・「あれ?こいのぼり、およいでない!」と見てみると、せっかく上がったこいのぼりがポールに巻き付いています。風がふくと「あっ泳いでる」風によってこいのぼりは泳いだり泳がなかったりすることに何となく気付いたようです。

また同じころ、クリアファイルで作った風車で遊びました。手にもって歩くだけで簡単に回ります。それを喜び、園庭で走って風車を回しました。すると、疲れて立ち止まった子が「あれ?走っていないのに回ってる」と大きな声で叫んでいました。その日はとっても心地よい風が吹いていて、子どもたちが何もしなくても風車は回りました。



「どうやって回ってるんだろう」手で回して研究しています。



大人にとっては風で動くものと簡単に理解できますが、子どもたちは日常の「不思議だな」「おもしろいな」の中で、科学を自然と学んでいます。

【0歳児 りすぐみ】

りすぐみの子ども達はバギーに乗って散歩に行くと、車や犬、畑で遊んでいる友達などを見つくと「あー!あー!」と喜んで指さしする姿がありました。A君は溝に勢いよく水が流れていることに気が付くと、「お!お!」と言いながら水の音を聞いて興味津々でした。

室内では『ふねのせんだうさん』や『うえからしたから』など様々なわらべうた遊びをして楽しんでいます。歌に合わせて体をゆらしたり、手をパタパタさせて喜んだりしています。『ふねのせんだうさん』では、最後に「どっす〜ん!」と保育者の膝の上からおっこちるのが面白くて大笑いしています。

